

3-3 高齢者福祉の充実

■ 現況と課題

本町の65歳以上の高齢者人口は、町全体の人口減少とは反対に年々増加しており、平成17年で約3,400人と全人口の22%以上に達しています。

また、核家族化が進む中で、独居高齢者や高齢夫婦世帯などが増加しており、家族の力だけでは介護を行うことが困難な家庭が増えつつあり、地域社会全体で支え合う必要性が高まっています。

特に要介護などの認定者は、平成17年で672人と65歳以上の高齢者の19.4%を占めており、認定率は全国や全道と比較しても高い状況にあります。また、町内の介護サービスの利用状況も高い水準にあり、サービスが充実している一方で、必然的に町民が負担する介護保険料も高くなっており日高管内ではトップの状況にあります。

このため、高齢者が可能な限り在宅で安心して暮らしていくためには、在宅福祉サービスの充実と地域での支え合う活動の推進、生きがい活動や体力アップなどの健康維持・増進を一層推進する必要があります。

介護サービスと高齢者福祉サービスを効果的に組み合わせつつ、負担と供給のバランスを図りながら各種事業を展開する必要があります。

■今後の方向性

1. 介護サービスと介護予防の充実

1 利用者の状況に応じた質の高いサービスが提供されるよう、介護サービス事業者へ適切な指導助言と研修体制の確立を図るとともに、適正なサービスが供給されるよう包括的・継続的ケアマネジメント支援を実施します。また、高齢者が安心して暮らせるよう、制度改正や高齢化などの将来的な展望に立った老人福祉施設のあり方や定員の見直しについても検討します。【①～③】

2 元気な高齢者の介護予防と軽度の要介護者の状態維持・回復のため、介護予防や介護指導、介護方法の普及啓発を推進します。また、地域包括支援センターを設置し、地域支援事業や新予防給付マネジメントの効果的な実施を図ります。【④】

2. 高齢者の在宅支援サービスの充実と家族相談支援の強化

1 高齢者が住み慣れた地域で、自立して暮らすためには、介護サービスと福祉サービス双方が、効果的に実施されることが必要です。そのために在宅支援サービスを充実し、認知症高齢者や家族を支える相談支援体制の強化を図ります。【⑤～⑮】

3. 高齢者の健康づくりの推進

1 心も体も健康な状態で高齢期に達することは、健康寿命を伸ばし、介護給付費や医療費の抑制効果をもたらします。元気な高齢者を増やすため、生活習慣病の予防対策に加え、お達者教室や高齢者体力アップ推進事業を実施し、高齢期に向けた健康づくりの推進を図ります。【⑯⑰】

4. 高齢者の社会参加と生きがいづくりの推進

1 高齢者が生きがいあふれる生活を送るためには、楽しみを持ち、役割を担いながら社会参加することが大切です。そのために社会教育と老人クラブと連携し、高齢者の社会参加を推進し、高齢者教育や生涯学習の充実を図ります。【⑱～㉒】

2 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるためには、地域での支え合いが必要となります。そのためには、地域福祉の推進、ボランティア活動の普及、世代間交流を促進するなどのコミュニティ活動の充実を図ります。【㉓～㉕】

■実施事業

- ①地域ケア会議の開催
- ②特別養護老人ホームの定員増
- ③老人福祉施設入所等措置事務事業
- ④介護予防センターの運営
- ⑤給食サービス事業
- ⑥緊急通報システム設置事業
- ⑦ひとり暮らし老人等電話サービス事業
- ⑧軽度生活援助事業
- ⑨移送サービス事業
- ⑩介護用品支給事業
- ⑪生活管理指導宿泊事業
- ⑫老人生きがい活動支援通所事業
- ⑬在宅要介護高齢者紙おむつ処理対策事業
- ⑭権利擁護事業
- ⑮相談体制の強化（地域包括支援センター事業）
- ⑯敬老入浴料助成事業
- ⑰高齢者体力アップ推進事業（新規）
- ⑱高齢者事業団の育成
- ⑲老人スポーツ・老人福祉大会の実施
- ⑳老人クラブ活動への助成
- ㉑敬老優待乗車事業
- ㉒九十九大学事業など
- ㉓敬老会負担金事業
- ㉔福祉ボランティア育成事業（地域福祉振興事業）
- ㉕マンパワーの整備
- ㉖地域福祉推進組織支援事業（再掲）
- ㉗三世代交流事業（再掲）
- ㉘保健予防活動の充実（再掲）